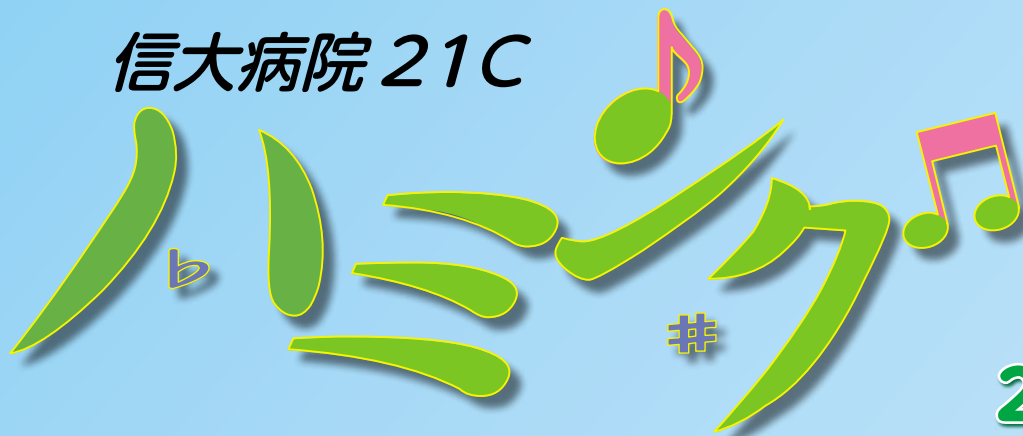


信大病院 21C



No.81

2017.12.14

基本理念

本院は診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を有し、また患者さんの人権を尊重した先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人を育成する。



「日々感謝」
撮影：谷口正洋
撮影場所：常念岳

主な記事

- 平成29年度患者満足度調査結果のご報告 …… 2～3
- 防災訓練に参加して …… 4
- 仕事のことで迷ったら、
がん相談支援センターへご相談ください …… 5
- 科学で解き明かす栄養 Evidence-based Nutrition …… 6
- リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017
信州まつもとに参加しました …… 7
- ご意見箱からの声 …… 7
- 電話番号表・編集後記 …… 8

平成29年度患者満足度調査結果のご報告

環境整備・サービス小委員会 委員長 伊藤 寿満子

本院では、毎年「患者満足度調査」を実施しています。ご協力いただきました患者さん、ご家族の皆様には心より感謝申し上げます。ここに調査結果の概要を報告させていただきます。今回の調査を通じまして、皆様からいただいた評価・ご意見（お叱り・励まし）を全職員で共有し、より一層皆様に信頼される病院作りに取り組んでまいります。

調査の概要

外来

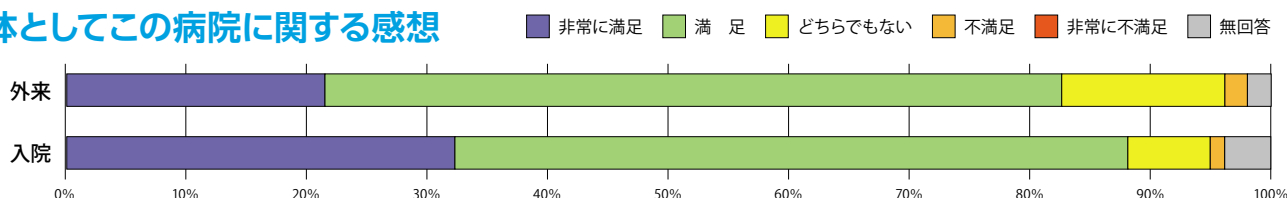
調査日（平成29年7月26日～27日）に来院された患者さんを対象としました。
会計・計算窓口にて委員から調査表を配布し、無記名回答方式で行いました（回収枚数759）。

入院

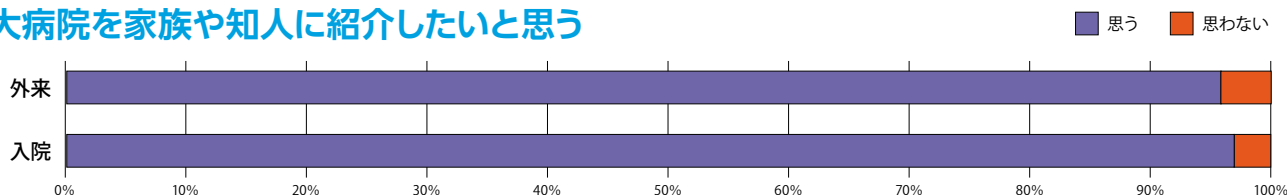
調査日（平成29年7月24日～28日）に入院している患者さんを対象としました。
病棟毎に看護師長から調査表を配布し、無記名回答方式で行いました（回収枚数330）。

調査結果

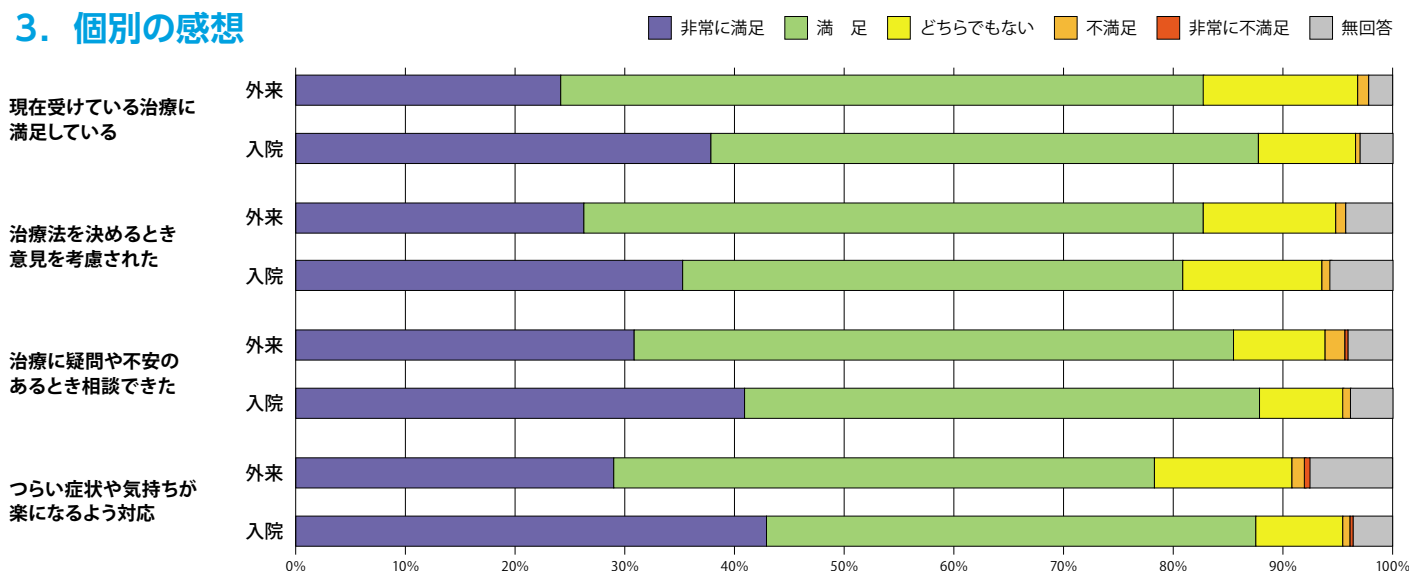
1. 全体としてこの病院に関する感想



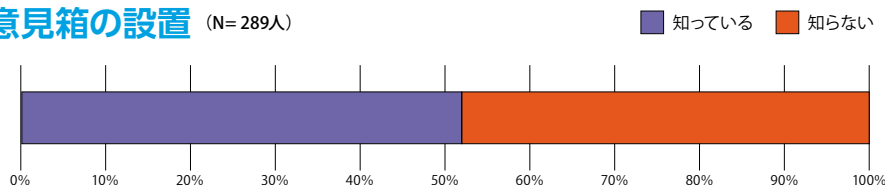
2. 信大病院を家族や知人に紹介したいと思う



3. 個別の感想



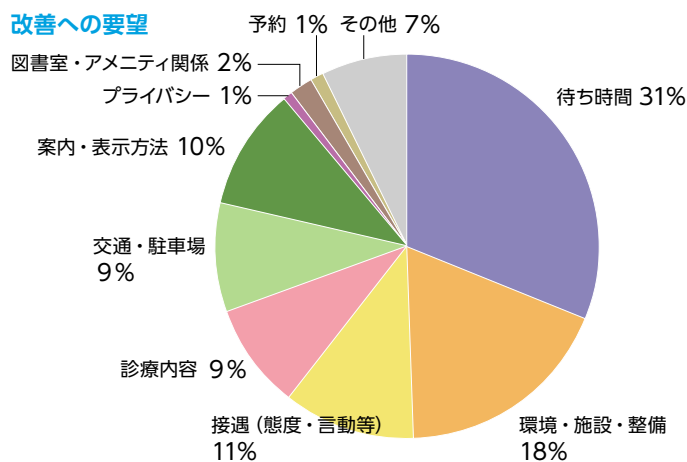
4. ご意見箱の設置 (N=289人)



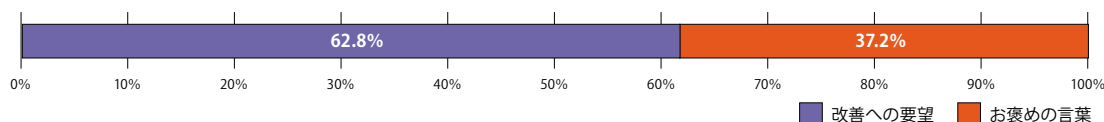
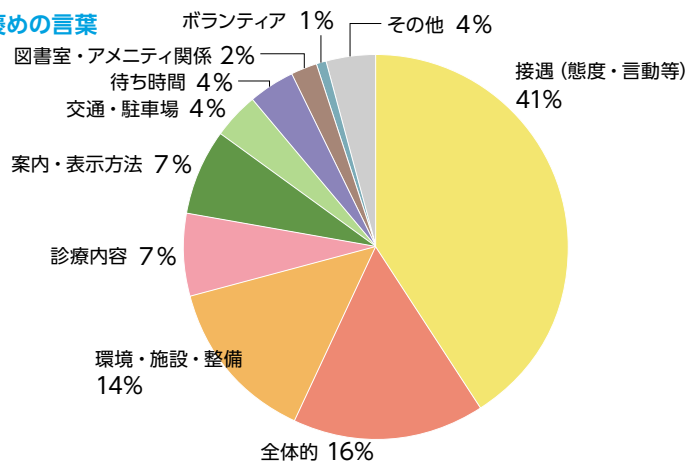
5. 自由記述について

外来の調査では、371件のご意見をいただきました。

改善への要望



お褒めの言葉



改善への要望(一部抜粋)

- 会計の待ち時間が長い。
- 冷房が効きすぎて寒い。
- パソコンに向かってばかりでなく患者の方を見てほしい。
- ホスピタルモールの場所が分かりません。
- 説明不足がすごく気になる。
- 駐車料金が安い。

お褒めの言葉(一部抜粋)

- 先生、看護師さんがすごく丁寧でやさしくていろいろ聞きやすい。
- 医師のレベルが高く信頼できる。
- WiFiが使える。
- 清潔感があって、明るく広い。
- 人を介した案内もあり、地図も分かりやすい。
- バスが玄関まで来てくれる。
- 駐車場が停めやすくなった。

6. 結果全体について

全体的に昨年同様満足度の高い評価をいただいております。今後もこの水準を引き続き維持し、より良い療養環境の整備と医療サービスの提供に努めてまいります。

今後の課題としては、「会計待ち時間の改善」と「新棟を含む分かりやすい案内表示」「職員の接遇マナー向上」に重点を置き、患者さんに満足していただけるよう取り組んでいきたいと考えております。

ご意見をもとに平成29年度に取り組んだ改善策の一例をご紹介します。

ご意見と改善ポイント

1) 「ホームページで必要な情報が探しにくい」

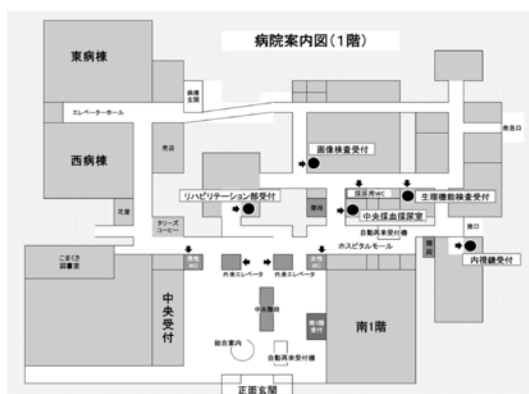
信大病院ホームページの項目の整理と文字サイズの変更をするとともに、入院保証書など各種書類をPDF形式で追加し、ダウンロードできるようにしました。

2) 「案内の表示がよく分からない」

診療科受付でお渡しする案内図を見直し、分かりやすい図に変更いたしました。

3) 「夏季の外来の温度が低すぎる」

外来のすべてのエアコンディショナーを適温(26℃)に設定しました。



2) 改善後の院内案内図



3) 26.0℃に設定



診察



模擬患者搬送



災害対策本部

11月7日（火）行われた防災訓練に参加しました。今回私は、外来診療棟1階に展開されるトリアージエリア（災害により負傷して来院された患者さんの受入・診療を行うエリア）の統括の業務調整を担当しました。担当する中で難しさを感じた点としては、最初は来院された患者さんごとに、「患者Aは黄エリア、患者Bは緑エリア」と、診察の結果選別されたエリアへ移動していただくので、患者さんの移動した先をホワイトボードに記録していくのですが、患者さんは入院や帰宅等により次々と移動しますので、その把握が困難であったことでした。この点は昨年も発生したことであり、各エリアとの連携の不十分さ、難しさが改めて浮き彫りになったと考えています。

訓練の中でも新鮮に感じたのは、災害時に多く発生すると予想される、帰宅困難者の対応でした。帰宅困難者は、ボランティアで参加してくださった地域の住民の方が演じていらっしゃいましたが、「食べ物や飲み物がほしい」「お薬手帳を持っていないが、薬が手元にないので処方してもらいたい」といった現実的な要望がよせられ、このような場合に備えて事前に対処法を考えておくことが必要だと感じさせられました。

特に薬剤師としては、他の患者のお見舞いに来た際に被災された方は、お薬手帳を持っていないことが多く、また、患者さん自身が薬の名前も覚えていないことが多いと思われるため、こうした際の対応は、考えておかなければならないと感じました。

また、訓練時は行いませんでしたが、薬剤師としては、実際の災害の際でも、調剤や薬の確保を行う必要があります。最近では、当院が被災した場合を想定して、薬の在庫を考えるようにしています。そのためには、病棟やトリアージエリアのみならず、多く押し寄せる可能性がある外来患者に対し、どのような薬が必要になるのかを事前に想定しておくことはとても重要です。今後、医師等の他の医療スタッフと話し合いを持つことにより、こういった薬がどの程度必要なのか、現実的なリスト作成を行っていきたいと思います。また、薬が不足した場合の対応等、医薬品の卸業者や地域の保険薬局と、どのように連携していくのか、具体的な計画作成を行っていきたいと思います。

今回の防災訓練は、以上のようなことを再確認できた、意義ある訓練であったと思いました。



消火訓練



外来統括



院内ベッドコントロール

仕事のことで迷ったら、がん相談支援センターへご相談ください

がん相談支援センター 篠之井 祐輝



近年、就労可能年齢（65歳未満）のがん患者さんが増加し、がん患者さんへの「仕事と治療の両立支援」の重要性が叫ばれるようになってきています。告知の直後に「働けない」と判断し、お仕事を辞めてしまう方が多く、診断早期から仕事について相談することができる体制の整備が国をあげて進められています。

当院がん相談支援センターでも、院外の就労の専門家と連携した相談会を実施しており、この9月には、「長野産業保健総合支援センターによる仕事と治療の両立支援相談会」が始まりました。当院での就労・就職支援の取り組みをご紹介します。

長野産業保健総合支援センターによる仕事と治療の両立支援相談会

◎月2回 第1・3木曜日 13:30～

長野産業保健総合支援センターの「両立支援促進員」が院内へ出張し、患者さんの仕事と治療の両立に関する相談に応じます。患者さんのご希望により会社を訪問し、仕事と治療の両立が可能な職場づくりのアドバイスを行うことができます。患者さんと職場の橋渡しをし、仕事と治療の両立への道を一緒に模索します。

社会保険労務士によるがん患者さん相談会

◎毎月 第4木曜日 13:30～

長野県がん患者への就労支援推進事業として、県からの委託で行っている相談会で、「社会保険労務士」が院内へ出張し、治療と仕事の両立に関する法律や制度利用に関する相談に応じます。主な相談内容は、「休職・復職に関すること」、「傷病手当金制度の活用」、「障害年金」などです。お気軽にご相談ください。

ハローワーク松本による就職相談会

◎毎週 水曜日 13:30～

ハローワーク松本の「就職支援ナビゲーター」が院内へ出張し、就職相談会を実施します。患者さんの能力や適性、病状、治療状況などを考慮して、マンツーマンで就職をサポートします。求人検索、応募書類作成や面接に関するアドバイス、職業訓練や就職支援セミナーのご紹介などを行います。

上記相談会は、いずれも完全予約制、相談無料です。相談を希望される場合は、がん相談支援センターへご相談ください。認定がん専門相談員がお話を伺っていただいた上で、適切な相談会にお繋ぎいたします。がんと診断されたら、退職を決める前に是非ご相談ください。

●お問合せ先

がん相談支援センター 篠之井・高橋・仁科

☎0263-37-3045

(医療福祉支援センター ☎0263-37-3370)

がん患者さんの就労支援第3弾！

長野産業保健総合支援センターによる
仕事と治療の両立支援相談会

がんと診断されたら、退職を決める前にご相談ください！

治療を続けながら、仕事を継続できるよう長野産業保健総合支援センター※の「両立支援促進員」が院内へ出張し、あなたの仕事と治療の両立について相談に応じます。また、ご希望により会社を訪問し、仕事と治療の両立が可能な職場づくりのアドバイスを行います。※労働者の健康確保を図り、事業場の産業保健活動を支援するため、相談・研修・情報提供などを行う機関。

〈相談内容〉

- ・治療をしながら仕事を続けたいが不安だ
- ・病気のことをどのように会社に伝えたらよいかわからない
- ・職場復帰に向けた準備はどうしたらいいのだろうか

第1、3木曜日 13:30～（月2回）
中央受付 1 ご相談 医療福祉支援センターにて
お電話にてお申し込みください
☎0263-37-3045
完全予約制・個別相談

相談無料

☆ がん患者さんの就労支援として、他に社会保険労務士による相談会、ハローワーク松本による出張相談会があります。まずはがん相談支援センターへご相談ください。

〈がん患者さんの就労相談イメージ図〉

診断時 → 治療中 → 治療後

診断時：両立支援相談
治療中：両立支援相談
治療後：両立支援相談

退職：両立支援相談

担当：信州大学医学部附属病院 がん相談支援センター（医療福祉支援センター内）
篠之井・高橋・仁科
長野産業保健総合支援センター
（長野市岡田町215-1ファージャス長野駅前ビル4F ☎026-225-8533）

科学で解き明かす栄養 Evidence-based Nutrition

管理栄養士 高岡 友哉

第7回 ゆっくりと食べることで 糖尿病を予防できるのか？

平成28年に実施された国民健康・栄養調査から糖尿病が強く疑われる人が1000万人を超えたと推計され話題になりました（参考文献1）。前回（平成24年）の調査では約950万人と推計されていたので、この4年間で50万人も増えた計算になります。糖尿病は様々な疾患のリスクとなるため、その予防は自分の健康だけでなく国の医療費抑制のためにも非常に重要です。

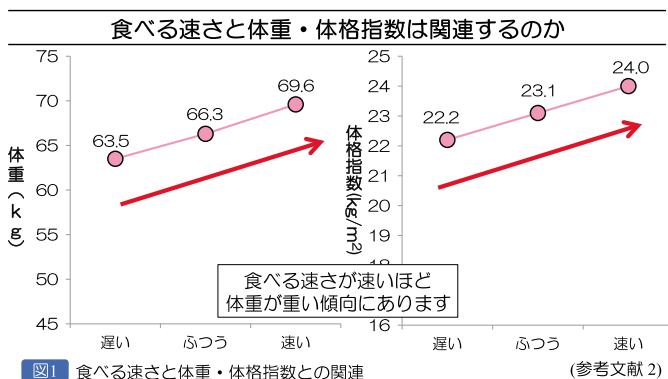
コラム第3回では血糖値コントロールのための食べ方のコツを紹介しました。その中の一つに食べる速さについて提案を行いました。そこで、今回は食べる速さが糖尿病の発症に関わるかを考えてみます。



1. 食べる速さと体重

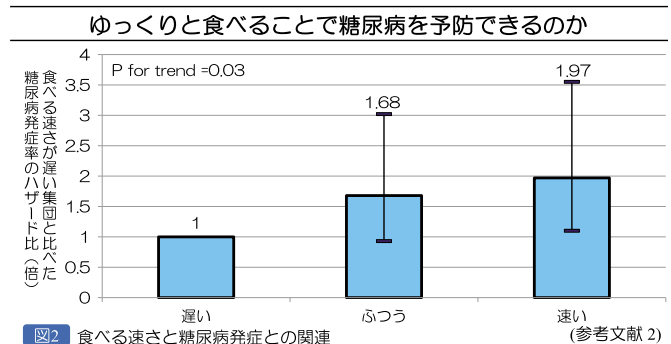
早速質問です。食べる速さは、①かなり速い、②やや速い、③ふつう、④やや遅い、⑤かなり遅い、のうちどれに当てはまりますか。

図1は35～55歳の日本人男性を対象に食べる速さと体重・体格指数（BMI）との関係を調べた結果です（参考文献2）。上述の質問の解答に従い、食べる速さが「遅い」、「ふつう」、「速い」の3つの集団に分けました。



回答人数の関係から①と②、④と⑤はそれぞれ「速い」「遅い」とまとめてあります。食べる速さが速いほど体重は重く、BMIも高い傾向にあります。これまでに女子大生や子供たちでも同様の結果が報告されています（参考文献3、4、5）。

2. 食べる速さは糖尿病の発症に関わるのか？



ある金属製品工場に勤務する35～55歳の日本人男性（2,050人）を7年間追跡して、食べる速さと糖尿病の発症との関連を調べた結果です。糖尿病の発症は食べる速さが遅い集団と比べたハザード比として表しました。性別や糖尿病の家族歴、試験開始時の喫煙習慣、飲酒習慣、運動習慣、高血圧や脂質異常症の既往など他の要因が糖尿病の発症に与える影響は統計学的にとり除いてあります。

図2は図1で示した集団を7年間追跡したのち、食べる速さが遅い集団と比べて糖尿病を発症する人が何倍多いかを調べた結果です。食べる速さが遅い集団と比べて速い集団では糖尿病の発症リスクが明らかに増加しています。

3. 日本の将来のために食べる速さを考える

食べる速さと糖尿病発症との関係の明確な根拠はまだ不足している状態です。一方、食べる速さは糖尿病の発症に影響する体重との関連が多数報告されています。食べる速さは体重管理を介して間接的に糖尿病を予防することに繋がるのかもしれませんが。

食べる速さは私たちだけでなく、将来を担う子供たちの体重とも関わっています。日本の将来のためにも今日からゆっくりと食事をしてみてはいかがでしょうか。

参考文献

1. <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000177189.html> (参照2017/09/30)
2. Sakurai M, et al. Metabolism. 2012;61:1566-71.
3. Sasaki S, et al. Int J Obes Relat Metab Disord. 2003;27:1405-10.
4. Murakami K, et al. J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo). 2012;58:247-52.
5. Okubo H, et al. Nutr Res. 2017;37:20-8.

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017 信州まつもとに参加しました

呼吸器・感染症・アレルギー内科 市山 崇史



「リレー・フォー・ライフ」はがん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧をめざすチャリティー活動です。1年間の活動の集大成として参加者が24時間リレーで歩き続けるイベントが世界30カ国、約6000カ所で開催されています。日本では2017年度全国49カ所で行われ、松本では9月9日から10日に、やまびこドームで「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017 信州まつもと」が開催されました。今年6年目になり、私は実行委員会として4回目の参加でした。昨年同様参加者に食事を提供するブースの運営を担当しました。昨年の反省を生かし夜な夜な妻と山賊焼きの下味を検討する等改善を加え（日常診療はしっかりやっていま

すのでご安心下さい...）、多くの方から「この前よりおいしくなった」といっていただきうれしく感じました。今年は昨年に続いてのリハビリスタッフに加え、栄養士、薬剤師および呼吸器内科の後期研修医もボランティアとして参加して、がん診療で重要な多職種連携でイベントを盛り上げることができました。来年も2018年9月8日から9日にやまびこドームでの開催が予定されています。これから1年間がん診療に従事し、来年のリレーをより充実させるための活動も継続しています。来年はさらに多くの皆様のご参加をお待ちしております。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 信州まつもと 公式ホームページ
http://relayforlife.jp/shinshu_matsumoto/



ご意見箱からの 声

Q 廊下からトイレに入ったところ、「アイコス」の匂いが強烈に漂ってきました。アイコスに関しては、どのような見解でしょうか。タバコでしょうか？電子タバコでしょうか？

その境目が分からないで吸っている方がいらっしゃるようです。できるならもっと大きく注意喚起していただきたいです。

A 貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。

ご指摘いただきました「アイコス」（加熱式タバコ）はニコチンが発生するとの商品説明がございますので、「たばこ」として敷地内禁煙に該当するものと判断いたします。また「電子タバコ」においても、香り等、周囲への影響もでございますので、禁煙の対象として今後注意喚起していくことといたしました。ご理解いただきますようお願いいたします。



**電子/加熱式
タバコ禁止**

電話番号表 (市外局番 0263) 代表番号：35-4600

【診療科外来】

南 1 階	小児科	37-2776	南 3 階	眼科	37-2789	リハビリテーション部 (理学療法)	37-2836
	遺伝子医療研究センター			耳鼻いんこう科	37-2791		
	先端心臓血管病センター			産科婦人科	37-2793	リハビリテーション部 (作業療法)	37-3399
	循環器内科			皮膚科			
	整形外科			消化器外科		通院治療室	37-2552
	脳神経外科			移植外科	37-2778	医療福祉支援センター	37-3370
南 2 階	総合診療科	37-2768	北 2 階	小児外科	37-2781	高度救命救急センター	37-2222
	呼吸器・感染症・アレルギー内科			呼吸器外科	37-2783		
	消化器内科			乳腺・内分泌外科		胸痛センター	
	血液内科			麻酔科蘇生科	37-2831	内視鏡センター	37-2803
	腎臓内科			形成外科	37-2846	臨床研究支援センター	37-3389
	脳神経内科			精神科	37-3381	移植医療センター	37-2930
	リウマチ・膠原病内科	37-2770	北 3 階	子どものこころ診療部	37-2787		
	糖尿病・内分泌代謝内科			泌尿器科	37-2796		
	放射線科			特殊歯科・口腔外科			

【医事課】

収入係	37-2763
入院係	37-2759
外来係	37-2757

【医療支援課】

患者サービス係 (診断書・労災)	37-2762
---------------------	---------

【病棟スタッフステーション】

西病棟		階	東病棟	
【先端心臓血管病センター】				
循環器内科	37-2777	8階	糖尿病・内分泌代謝内科	37-2769
心臓血管外科			乳腺・内分泌外科	
脳神経内科、脳神経外科	37-2774	7階	消化器内科、血液内科	37-2771
リウマチ・膠原病内科			腎臓内科	
皮膚科	37-2788	6階	【呼吸器センター】	
泌尿器科			呼吸器・感染症・アレルギー内科	37-2784
消化器外科、消化器内科	37-2782	5階	呼吸器外科	
移植外科、小児外科			眼科、脳神経外科	37-2790
産科婦人科	37-2772	4階	麻酔科蘇生科	
新生児科 (NICU・GCU)			小児科	37-2794
精神科	37-2775	3階	整形外科	37-2786
子どものこころ診療部				
放射線科、消化器外科、移植外科	37-2780	2階	耳鼻いんこう科	37-2792
小児外科、特殊歯科・口腔外科、RI			形成外科	
信州がんセンター、救急科				

くすりの相談室	37-3013	地域医療連携支援室	37-3370
総合医療相談室	37-3370	難病相談支援センター	34-6587
がん相談支援センター	37-3045	難聴児支援センター	34-6588
セカンドオピニオン外来	37-3111	肝疾患診療相談センター	37-2922
先端細胞治療センター (分子細胞診療室)	37-3220		



☆相談窓口☆

受付時間：月～金（祝除く）
9時～16時

編集後記

舞い散る落ち葉や冷たい風に本格的な冬の訪れを感じる季節となりました。「小春日和」という言葉があります。小さな春の日と書くことから、春が訪れる頃のぽかぽか陽気の日と思われがちですが、実は、晩秋から初冬にかけての時期で、穏やかで暖かな日が続くことを言うようです。「小春日和」が春を表す言葉ではなく、冬の言葉であると聞いて驚かれる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。寒い冬が訪れる前の、春のようなぽかぽか陽気は、心が和むものです。ちなみに「小春」は11月頃を言い、「春日和」は春のよく晴れた穏やかな日のことだそうです。日本語って面白いですね。（広報室委員 内川 俊行）

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？ 写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、
byouin_soumu@gm.shinshu-u.ac.jp

へお送りください。

写真は2MB以上5MB未満のjpgデータ

【お問合せ・応募宛先】

信州大学医学部附属病院 総務課 総務係

TEL：0263-37-3410 ※応募はメールのみ受付